ドラムカン

46.1.19
第5号
三里塚高校生協議会

不当弾圧粉砕！
空港建設粉砕！

不当なる逮捕に異義を申し立てる。

去る十二月八日、我々の友達や仲間が逮捕されていった。
別件逮捕にもかかわらず、マスコミは「警官殺し」の汚名をきせた。敵政府空港公団は、我々の五年間に渡る戦いによって追いつめられ、四千メートル滑走路さえも三千五百メートルに縮少せざるを得なくなってしまった。
そして、追いつめられた政府は、私達の仲間を別件逮捕し、自分だけがたよりだという、まったくでたらめなまま、不当な、監禁をしつづけているのだ。
これに対し学校側は目をふせている。
これに対し社会は目を閉じている。
「警官殺し」を私達の仲間に仕立て上げ、友納は自己の罪をのがれようとしているのだ。
代執行において死者が出るのを予想しながらもその代執行を強行した自己の罪を「空港反対」である私達の仲間にきせようというのか！
戦争に使われる空港反対。この地で、生まれた地で死にたい。
ただそれだけなのに。
国家権力は恐ろしいものだ。
平気で人を殺す。平気で嘘をつく。（本当の事をかくすためにだけ。——）
この不当なる11名の逮捕は、友納の責任を消し去ろうとしているのだ。
私達はこの政府、友納の陰謀と不当逮捕を許すことはできない。人間であるのならこのようなことは断じて許すことはできない。我々はこの不当なる逮捕に断固として抗議する。

〈天浪共同墓地収用阻止闘争にむけて〉

一月に行なわれようとしている収用にむけて私達は、故小川明治副委員長の遺体を絶対に掘りおこさせはしない。
国家権力の弾圧に断固として戦いつづけてなくなられた副委員長の遺体を誰が掘りおこすことが出来るというのだ。
友納よ!! 県知事である友納が目をあけない限り、お前はもとより農民は、県民は苦しむのだ。
自分で自分の首を締めるがいい。お前がどんなにきたない手段をして私達を殺そうとしても、私達は断固として戦うことを宣言する。

不当弾圧粉砕！　同志をただちに釈放しろ！
共同墓地収用粉砕！　明治さんの闘魂をわたすな！
三里塚空港粉砕！　一番機を飛ばすな！